

国土交通大臣表彰（個人）

氏 名	現 職	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
あんどう こうすけ 安藤 幸助 S13. 4.13 (6 8 歳)	(有)安藤建設 代表取締役	元(社)千葉県建築組合連合会 副会長	多年、建築設計、工事監理業務に従事し、数多くの建築物の設計・監理に尽力するとともに、関係団体の役員として講習会・研修会等を通じ、建築設計・監理等業務の進歩改善と健全な発展を図るなど業界の発展のために大きく寄与した。
いけはた あきら 池畑 彰 S21.10. 8 (5 9 歳)	池畑幸夢店(株) 代表取締役	飛騨小坂匠の家協会 理事長	多年、住宅・建築関連産業に従事し、飛騨産直住宅「飛騨小坂の家」を多数建設し、県産木材の使用率向上や地場工務店の活性化に寄与するとともに、地震対策、健康への配慮、自然との共生を考えた家づくりの研究を重ねるなど、住生活・住意識の向上に大きく貢献した。
いまい せいぞう 今井 聖造 S19.6.10 (6 2 歳)	今井産業(株) 代表取締役会長	(社)島根県住まいづくり協会 副会長	多年、住宅・建築関連産業に従事し、良質な住宅供給を行うとともに、関係団体の役員として島根県西部地方の住まい方・建て方を検証した新たな住宅づくりに取り組み、「島根県民住宅祭」においてモデル住宅を建設・展示するなど、住生活・住意識の向上に大きく寄与した。
こうだ よしはる 甲田 義明 S24. 1. 28 (5 7 歳)	(株)甲田企画設計事務所 代表取締役	(社)千葉県建築士事務所協会 理事	多年、建築設計、工事監理業務に従事し、数多くの建築物の設計・監理に尽力するとともに、関係団体の役員として講習会・研修会等を通じ、建築設計監理等業務の進歩改善と健全な発展を図るなど業界の発展に大きく寄与した。

氏 名	現 職	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
しらかわ つとむ 白川 勤 S15. 5.1 (6 6 歳)	白川建築設計事務所 代表	(社)青森県建築士会 副会長 (社)青森県建築設計事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理業務に従事し、数多くの建築物の設計・監理に尽力するとともに、関係団体役員として講習会・研究会等を通じ、会員の資質の向上と業界の発展に大きく寄与した。
たけした よしのり 竹下 義範 S14.3.20 (6 7 歳)	竹下工務店 代表者	元熊本県建築組合連合会 理事	多年、住宅・建築関連産業に従事し、豊富な経験と卓越した技能により日本伝統の和風住宅の建設や神社・仏閣等の修復等を行うとともに、関係団体の役員として業界の発展や小、中、高校生を対象とした「ものづくり教室」への参加などにより後進の育成に大きく寄与した。
たけだ ひろし 武田 弘 S12.3.17 (6 9 歳)	(株)鈴木建築設計事務所 代表取締役社長	(社)山形県建築士会 副会長 (社)山形県建築士会山形支部 支部長	多年、建築設計・工事監理業務に従事し、「やまがた住宅フェア」の実行委員として中心的な役割を果たし、住意識の向上に努めるとともに、関係団体の役員として後進の育成、業界の発展に大きく寄与した。
たぐち きよいち 田口 清市 S6.10.11 (7 4 歳)	(有)ハヤシ 営業部長	(社)日本しろあり対策協会 理事	多年、しろあり防除施工業に従事し、しろあり防除業の振興に貢献するとともに、関係団体の役員として後進の育成、業界の発展に寄与した。また、蟻害・腐朽検査制度推進委員会委員として、蟻害・腐朽検査制度の発展に多大な貢献をした。

氏 名	現 職	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
たなか みつる 田中 充 S9. 5.24 (7 2 歳)	(財)山口県建築住宅センター 理事	(社)山口県建築住宅センター 理事	多年、山口県の住宅・建築行政に従事するとともに、関係団体の役員として業界と行政の連携や後進の育成に尽力するとともに、「やまぐち住宅フェア」における中心的役割を果たすなど、住生活・住意識の向上に大きく寄与した。
たねいち よしお 種市 由夫 S19. 2.25 (6 2 歳)	(株)ビーゴーイング 代表取締役	元(社)日本設備設計事務所協会 理事	多年、建築設計・工事監理業務に従事し、数多くの建築物の設計・監理に尽力するとともに、関係団体の役員として講演会・研修会等を開催し、後進の育成や業界の発展に大きく寄与した。
ふじもと かつま 藤本 勝馬 S13.9.23 (6 8 歳)	藤本建設 代表者	熊本県建築組合連合会 理事	多年、住宅・建築関連産業に従事し、豊富な経験と卓越した技能により日本伝統の和風住宅の建設や神社・仏閣等の修復等を行うとともに、関係団体の役員として業界の発展や小、中、高校生を対象とした「ものづくり教室」への参加などにより後進の育成に大きく寄与した。
べっしょ まさふみ 別所 正史 T8.12.6 (8 6 歳)		(社)「 ^{むろまちかい} 室町会」理事長 室町 21 まちづくり委員会 代表	多年、(社)「室町会」内に立ち上げられた室町 21 まちづくり委員会の代表として、今日まで築かれたまちの伝統と文化を受け継ぎ、持続可能な住宅地となるように住民の要望をほぼ取り上げた住民憲章の制定に尽力するとともに、計画的近代型郊外宅地「室町」の歴史ある住環境の保全に多大な貢献をした。

国土交通大臣表彰（団体）

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
いわないちょう 北海道岩内町	町長 上岡 雄司	公営住宅（建替） ひがしやま 「東 山団地」 ・北海道岩内郡岩内町 ・平成9～平成16年度 ・300戸（RC造1～5階）	当該団地は、老朽化した周辺の団地を統合し、平成9年度から平成16年度にかけ、300戸という大規模な建替により周辺の住環境と景観を大幅に向上させた事例である。特に冬季の日本海側からの風雪の影響を受けにくいオープンスペースと駐車場を確保する囲み配置の採用や周辺住居に配慮した低層棟の効果的配置は、景観だけでなく、多様なコミュニティ形成にも寄与した。
こおりまち 福島県桑折町	町長 林王 喜久男	公営住宅（建替）、 特定公共賃貸住宅 くらば 「庫場団地」 ・福島県伊達郡桑折町 ・平成14～平成17年度 ・25戸 (公営19戸、特公賃6戸) (W造1F)	当該団地は、地域のもつ固有の風土や歴史、文化的な特性を生かした整備事例である。地域資源である瓦を屋根材、町内山林で入手できる杉材を外壁のモチーフにし、ファサードは桑折町伝統の米倉をイメージしたものとなっている。また、敷地内の広場、児童遊園は敷地中央を横断する団地内通路により結び付けられ、入居者はもちろん周辺住民とのコミュニティの形成にも寄与した。
ひたちおおみやし 茨城県常陸大宮市	市長 矢数 浩	公営住宅（建替） さくらのおか 「桜の丘団地」 ・茨城県常陸大宮市 ・平成10～平成17年度 ・144戸（RC造3, 4階）	当該団地は、公営住宅の建替により環境と共生する良好な住環境を創出した事例である。人工的に生物郡の棲息場所となるような環境整備をした場所（ビオトープ）を取り入れた親水空間と大小のコモンスペースを整備したことにより、景観だけでなく、周辺住民の憩いの場としてコミュニティの形成にも寄与した。

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
かごしまし 鹿児島県鹿児島市	市長 森 博幸	公営住宅（建替） やなぎまち 「柳 町住宅」 ・ 鹿児島県鹿児島市 ・ 平成 9 年～平成 1 7 年 ・ 2 1 3 戸（SRC 造 8 ～ 11 階） （シルバーハウジング 22 戸） （車椅子仕様 6 戸）	当該団地は、立地を活かした職住近接型の住宅供給及び既成市街地の活性化を図るという市の住宅施策に沿って、従前の戸数を大幅に増やした事例である。建設にあたり、既入居者の高齢化が進んでいることから、手すり、緊急通報システムなどバリアフリー化された施設整備と L S A の配置による日常生活支援サービスとの提供を併せて行うシルバーハウジングを導入し、高齢者・障害者等に配慮したものとしている。
さんごうちょう 奈良県三郷町	町長 秋田 新平	改良住宅建替事業 しものしょう 「下之庄地区」 ・ 奈良県三郷町 ・ 平成 1 1 ～ 1 7 年度 ・ 更新住宅建設戸数：101 戸 ・ 施行面積：1.01ha	当地区の建替対象住宅は高齢化率が高く、かつ高齢者のみの世帯が多い。このことから家族数に応じた様々なタイプの住宅や住戸内部、共用部分のバリアフリー化、また「溜まり」や「すきま」といったふれあいスペースの確保や住棟間を結ぶ空中歩廊を設置し、高齢者の孤立した生活を招かない、開かれた暮らしを支える住環境を整備した。
(社)石川県木造 住宅協会	会長 村上 紀夫	住宅行政の推進	昭和 6 2 年に在来工法を中心とした木造住宅建設業者により、木造住宅の普及・生産技術の向上を目的として設立された全国初の団体であり、多年、「石川県ハウジングスクール」における県内の住宅産業事業者の能力向上、住宅展の開催による最新の住情報の提供により国民の住意識の向上に寄与した。また、地域性に配慮した良質な住宅団地の開発供給や良好な団地形成のためのノウハウの提供等により、行政の定住促進施策等にも大きく貢献した。

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
しずおかしんぶんしゃ (株) 静岡新聞社 しずおかほうそう 静岡放送 (株)	取締役社長 松井 純	住宅フェアの開催	昭和60年より住宅フェア「住まい博」を21年連続して開催し、住まいに関する最新情報を提供し続け、その通算来場者も100万人を超えるなど、国民に良質な住情報の提供を行った。特に近年は、住まいの安全、安心、快適を重点に開催し、国民の住意識の向上に大きく貢献した。
埼玉県住まいづくり協議会	会長 宮沢 俊哉	住宅行政の推進	多年、各種講習会・セミナーの開催、住宅相談、住宅建築行政情報の提供などを継続して実施し、住民と住宅産業界を対象に様々な活動を行うことにより住宅・建築行政の推進に貢献するとともに、平成9年より「住宅月間シンポジウム」を毎年開催し、リフォーム、防犯、住宅品確法などをテーマに講演、パネルディスカッション、展示などを行い、住宅に関する住民意識の向上に寄与した。
しんせんりさくらがおか 新千里桜ヶ丘住宅 建替合同委員会	委員長 井上 勝	千里ニュータウン「新千里桜ヶ丘住宅」建替事業 ・昭和41年に大阪府住宅供給公社により分譲された団地（4階建12棟272戸） ・19階建7棟524戸（還元214戸、分譲310戸）の分譲マンションに建替え	本委員会は、千里ニュータウン地区における老朽化したマンションの建替えを大規模な団地としては全国初の法定建替え決議（区分所有法4/5決議）により実施した。約20年の長きにわたり計画の再三の見直しが行われたが、ワークショップ等の開催により地域や環境に対する市民の愛着を計画に反映させ、周辺の景観と調和した緑豊かで良好な住環境を形成している。

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
はぎなかじゅうたく 萩中住宅マンション建替組合 ゆうらくとち 有楽土地（株） (株)シティコンサルタンツ	理事長 北畠 宏 代表取締役社長 城崎 啓一郎 代表取締役社長 金井 修一	「オーベルグランディオ萩中」 ・東京都大田区 ・平成 15 ～ 17 年度 ・2 棟、戸数 534 戸 （地上 18 階、地上 17 階 ／地下 1 階） ・延べ床面積 47,065.61 m ² 敷地面積 15,952.91 m ²	首都圏最大規模のマンション建替事業で、全国で初めて団地一括建替え決議を適用した事例である。マンション建替え円滑化法の適用、総合設計制度の活用、高齢者返済特例制度の利用など、多数制度の方策を活用し、権利者の不安払拭、負担の軽減、高齢者の資金調達などの課題に、具体的な解決方法を導き出し、事業を実現した。地域との融和を重視しながら防災まちづくり、住環境の向上・改善にも寄与しており、老朽マンションの建替えを円滑に進めるにあたり、本事業は先進的事例となった。
しんこうふうどうさん 神鋼不動産(株)	代表取締役社長 藤川 泰延	「摩耶シーサイドプレイス （ウエスト・イースト・フェアコースト）」 ・平成 11 ～ 17 年度 ・10 棟、戸数 1,114 戸 延べ床面積 134,297.14 m ² 敷地面積 48,154.95 m ²	摩耶シーサイドプレイスは、神戸市復興計画のシンボルプロジェクトとして位置づけられる神戸東部新都心・H A T神戸における大規模な民間分譲マンション事業である。当該住宅団地は、H A T神戸における民間供給住宅戸数の約 6 割を占め、オープンスペースの積極的配置や屋上緑化により環境保全に貢献する街づくりを行うとともに、心豊かなコミュニティが育まれるように共用施設の充実が図られている。この事業により、良質な市街地住宅の建設、良好な住環境整備が行われ、震災により甚大な被害を受けた住宅や都市機能の受け皿となる市街地の復興に大きく寄与した。